

各地の“うまいもの”大集合

五條・吉野魅惑体験フェスティバル

五條吉野地域が有する自然、歴史、文化などの地域の魅力を再発見することを目的に、7月中旬から五條吉野地域12市町村で開催された「五條・吉野魅惑体験フェスティバル」が10月22日吉野川大川橋付近の河川敷で最終日を迎えました。この日はフィナーレイベントとして、“五條・吉野『おいしい市にち』”と銘打ち、会場いっぱいに12市町村の「うまいもの」が集合。黒豚やキノコなど各地の秋の味覚を取り入れた「みわく鍋」が振る舞われたり、特産品の販売所が設けられました。また各地の芸能やラジオの公開録音やカボチャの重量コンテストなどがおこなわれ、市内外から訪れた人々を楽しませました。



五條・吉野魅惑体験フェスティバル

音と光の共演

また、フィナーレのイベントとして21日、「五條の燈花会・あかねジャズライブ」が吉野川新町の河川敷で開催されました。夕暮れとともに河川敷に設置されたろうそく3000本に参加者らによって火がともされ、ライブもスタート。河原で繰り広げられる4組の出演者が奏でるビートと光の共演に観客は魅了されました。



五條の燈花会とあかねジャズライブ

笑い声があふれた会場

敬老会に1,400人が出席

平成18年度五條市敬老会が中央体育館・西吉野コミュニティセンター、大塔町のふれあい交流館の各会場で行われ、合わせて1400人が出席しました。

この会には満75歳以上の皆さんを招待し、長寿をお祝いするとともに、長年のご苦勞に敬意と謝意を表すため開催され、今年米寿を迎えた121人にお祝いの品が贈られました。

また、演芸なども行われ、出席者は楽しい時間を過ごしました。



みんなで作ろう安心の街

地域安全運動展開

10月11日から20日までの10日間、地域安全運動が全国一斉に実施され、五條市でも、「みんなで作ろう安心の街」をスローガンにさまざまな運動が展開されました。

初日の11日には、天誅組保存会のメンバーが天誅組の志士に扮して、市役所前で出陣式を行い、市内金融機関などを回り啓発活動を行いました。また14日には、野原公民館で五條地方地域住民安全集会を開催し、地域安全の功勞者に表彰などが行われました。

